

八尾支部の紹介

大阪府で都があった場所と云えば、大阪府庁の側の難波の宮と思うでしょうが、八尾市にも都がありました。八尾市南部の弓削の地に由義宮が置かれ、奈良の平城京に対し西にあることから西京と命名されました。そして、この程、西京のシンボルであったと思われる巨大な塔の基壇が発掘され、2018年2月に国の史跡とされました。基壇の大きさからして、七重の塔であったと推定されています。西京の造営を祝って、河内を本拠とする氏族の男女230人が参加し歌壇が催されましたが、その際に歌われた「乙女らに男たち添ひ踏みならず西の都は万代の宮」という歌が残されています。

今後、西京の全体像が分かる日の一日も早いことを願っています。

八尾支部の状況ですが、平成31年1月現在の会員数は563名で役員は22名です。支部の活動は、女性部会と同好会活動の二つに区分していますが、女性部会としては、俳句教室、俳画教室、いきいき健康教室の3つの活動をしています。いきいき健康教室ではゲームや体操をしたり、一緒に歌を歌ったり、時には簡単な料理やお菓子を作ったりと楽しい時間を過ごしています。



女性部会 いきいき健康教室

同好会活動では、カラオケ、歩こう会、グラウンドゴルフの三つですが、それぞれ、ブロックの大会へも積極的に参加しています。

以上の活動以外に、毎年、親睦事業として日帰りのバスツアーを実施しています。

本支部においても、近年、新規加入者の減少が顕著になっています。その要因は、年金の支給開始年齢が引き上げられ、定年退職後も年金が支給されないこともあります。退職後の生活について、自分のライフスタイルに合わせた明確な考え方を持っている人が増えてきたことにもあると考えています。そうした現役世代へアピールしていくためにも、支部活動は更なる充実を図っていかねばならないと考えています。